

映像上映会

レバノン1949

ある移民家族の映像記録に見る新生国家



65年と1万2000キロの時空を越えて
いま甦るレバノンの原風景

【プログラム】

解説「フィルムが陽の目を見るまで」 飯島みどり（立教大学）

映像（サイレント 48分）&上映並行解説 黒木英充（東京外国語大学）

2014年12月11日（木） 19:00-20:40（開場18:30）

【会場】千代田区立日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス（小ホール）

千代田区日比谷公園1番4号（旧・都立日比谷図書館）

東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」、都営三田線「内幸町駅」より徒歩3分

【参加費】無料 【事前申し込み】不要

【問い合わせ先】kuroki@aa.tufs.ac.jp（黒木）

【主催】科学研究費「レバノン・シリア移民の拡張型ネットワーク」/日本レバノン友好協会